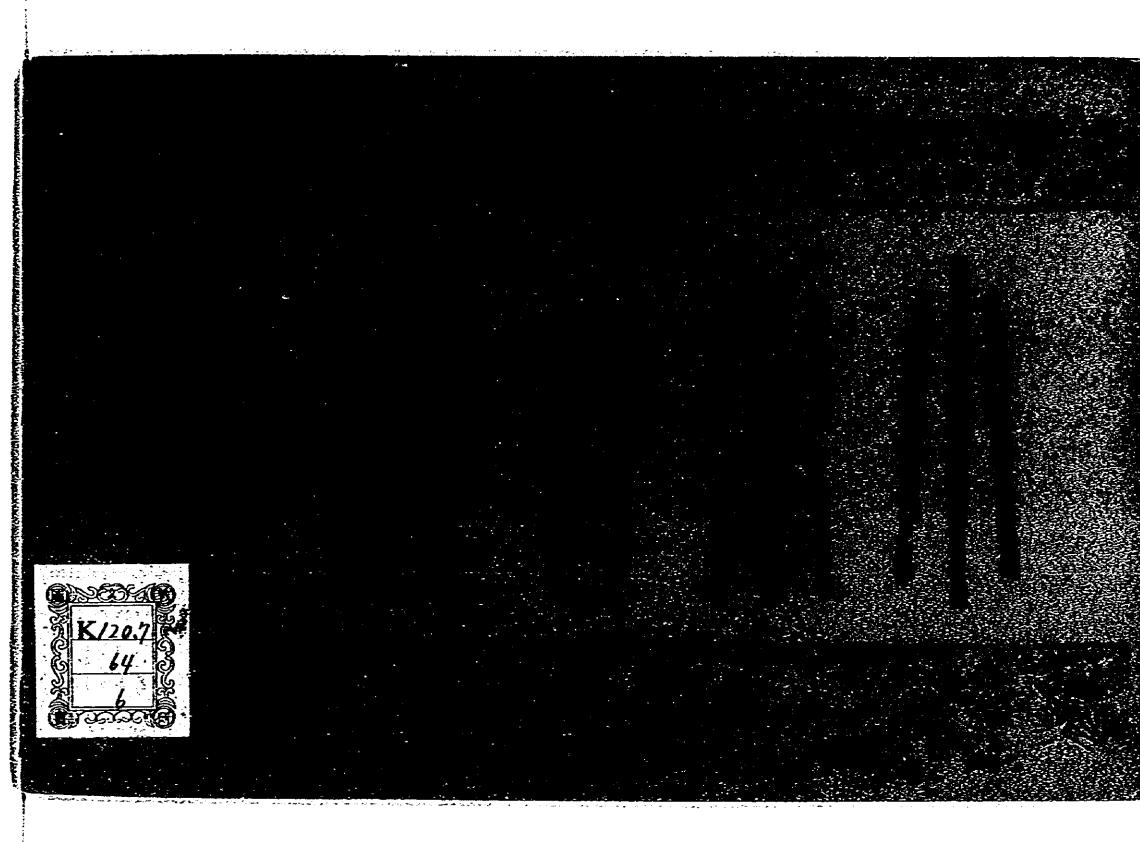


K120.7

64

6



正訂郎吉錦多本

著郎太正山小

撰新山春留簡川

K/20.7

64

6

乙種第6篇

東京文社發行

クラシヨリハ寧ロ青紫タル能品ナルヲ要ス、本帖ハ深ク  
斯ニ注意シ、筆々謹慎敢テ粗放ナラザルヲ期シタリ。

八臨畫ノ初步ニハ、直線ヨリ成ル者トナ、交互ニ序列セリ。

九臨畫ハ成ルベク大ナルヲ益アリトス、從ヒテ臨本モ成ル

イベク大ナルナ良シトス、本帖ハ斯ニ注意シ、全幅ノ位置ヲ

シテスルナ弊アリトス故ニ本帖ハ、其輪廓ノ曲線ヨリ成ル  
者ト直線ヨリ成ル者トナ、交互ニ序列セリ。

十臨畫ハ、寫生ノ階梯ナレバ、臨本畫中ノ諸物ハ、他日寫生ス

ベキ諸物ニ聯絡アルヲ益アリトス故ニ本帖ハ成ルベク

何人モ實物ニ接スルニ難カラザル者ヲ選擇シ、且ツ其畫

法モ成ルベク他日寫生ニ移ルニ便ナラン事ヲ務メクリ。

十一、臨本オ編纂スルノ順序ハ、其畫中ノ品類ニ由レント畫

法、雜易ニ山レントノ二種アリ、普通教科書トシテハ畫

法、雜易ニ山ルヲ至當ナリトス故ニ本帖ハ、畫中ノ品類

三山、リテ門子分クズ専ラ畫法ノ雜易用筆ノ疎密ニ由リ

シテ前後ヲ定メクリ。

一二、本帖ヘ別ニ教師用書一卷アリ、之ヲ繙カバ、臨畫ニ、關ス

ル諸種ノ心得、各圖ニ付キ、一々起手ノ前後、速筆ノ方

法等ニ至ルマテ瞭乎トシテ掌ヲ指スガ如キモノアリ是レ

レ從來多ク見ザル所、庶クハ敷ヘ易ク學ヒ易カランカ。

十三、本帖製本ヲ左綴ト爲シタルハ、其例又少キ所ナリ、是レ

右綴ナルモノハ、左方ニ置キテ開展スルトキハ畫紙上相

遠ザカラシメ、反覆スルトキハ臨本面ナシテ左方ニ傾斜

セシムルノ不便アリ、然レトモ、左綴ナルモノハ更ニ此憂

ナク、反覆スエドキニ於テ、臨本面ナ右方ニ傾斜セシメ、生

徒ナシテ、一層注視シ易カラシムルノ益アレバナリ。

著者識

明治三十二年九月

第六篇目次

第一圖 菖蒲の花

第二圖 提灯

第三圖 蓮根と慈姑

第四圖 薔薇の花

第五圖 火箸と十能

第六圖 蕎麥と火箸

第七圖 葵と老樹

第九圖 草

第十圖 桃杷

第十一圖 夏の木

第十二圖 急須に茶碗

第十三圖 粟の實

第十四圖 鞄と手袋

第十五圖 寫生の例

本帖ハ固ト此主旨ニ因テ編纂セシモノナ  
ルベキモ、發刊既ニ五年ノ久シキ、全國府縣  
ノ過半ニ採用セラレテ、刊行部數夥多ナル  
ガ爲メ、原版漸ク磨滅シ、遺憾ノ点少キニア  
ラザリシナ以テ、今茲ニ(第一)現行ノ教授要  
目ニ照ラシ(第二)前述ノ主旨ニ則トリ(第三)  
本帖ヲ採用セラレタル府縣當路者ノ實驗  
談ヲ斟酌シテ、大ニ訂正ヲ加ヘタリ。  
其一二ヲ舉グレバ、順序ヲ變更シタル部分  
アルハ、實地授業ノ經驗ニ由リ、習學ノ難易  
ニ準シタルナリ、卷末ニ器物其他ヲ縮寫セ  
ラルモノヲ加ヘタルハ、寫生ノ標準ヲ示セ  
ラズ、是等ニ類スル實物ヲ此ノ如ク略画セ  
シメンガ爲メナリ。

明治三十六年十二月

## 訂正者識

### 小學習畫帖

#### 編纂主旨及習學心得

一本帖ハ小學校教科用二編纂セシモノニア、甲種十二冊乙  
種八冊外ニ水彩畫三冊ヲ附シケテ、尋常科ヨリ圖畫ヲ課  
スル學校ハ甲種ヲ用ヒ、高等科ノミニ課スル學校ハ乙種  
ヲ用フヘシ、但水彩ヲ課スルニ當テ、其時間足ラザル時ハ  
四五六篇中ニア、一冊若干ハ三冊ヲ適宜ニ省ク、モ妨ナシ。  
二從來ノ臨本ハ其紋畫ノ部ニ於テ、興味甚メ少キ爲ニ、生徒  
ノ厭倦ヲ招クヨト多シ、本帖ハ、大ニ斯ニ意ヲ用ヒテ、他書  
ノ最毛無味ナル部ヲ變コテ、最も多趣ナル部ト爲シタリ、  
乃チ紋畫ニ於テ、多く古人ノ定紋ヲ集メシラバ、教師コレ  
ニ就キテ小談話ヲ爲セバ、生徒ハ興味津々トシテ毫モ厭  
倦スビコトナク、樂ミテ是ヲ習學スルニ至ル可シ。  
三、本帖ハ風雅大街ハズ、洒落チ祖ハズ、平易ニシテ興味アル  
チ旨トシ教ヘ易ク學ヒ易キナ目的トセリ。  
四、本帖ハ紙數云限アルヲ以テ、材料ノ多種ナ望ミ難ケレド  
モ、勉メテ右搜左索シテ以テ異類各種人物ヲ集メタリ、是  
レ亦著者苦心ノ一ナリ。  
五、本帖ハ山水人物鳥獸花卉什具ノ類ハ勿論、トヒ簡單ナ  
クシテ第多キ者ハ、兒童ヲ専マシム可シ、本帖ハ最モ斯ニ  
ル模様ノ類ニ至ルトモ成ルベクハ、日常兒童ノ目ニ觸レ  
易キ、高尚優美ナル我國古來ノモノナ畫キ、以テ生徒ノ思  
考想ヲ高メシコトヲ務メタリ、是レ亦著者ノ微意ノ存スル  
所ナリ。  
六、繪畫ノ筆少クシテ意多キ者ハ、兒童ヲ娛マシム可ク、意少  
クシテ第多キ者ハ、兒童ヲ専マシム可シ、本帖ハ最モ斯ニ  
ル模様ノ類ニ至ルトモ成ルベクハ、日常兒童ノ目ニ觸レ  
易キ、高尚優美ナル我國古來ノモノナ畫キ、以テ生徒ノ思  
考想ヲ高メシコトヲ務メタリ、是レ亦著者ノ微意ノ存スル  
所ナリ。  
七、繪畫ノ運筆磊落雰鬱ナルハ、一見シテハ興味多ケレドモ、  
就キテ學ブニ難シ、初學ナシテ強テ之ヲ學バシメバ、其弊  
少カラザルベシ、故ニ普通園益科ノ臨本ハ放逸ナル妙品

## 露光量調整、重複撮影

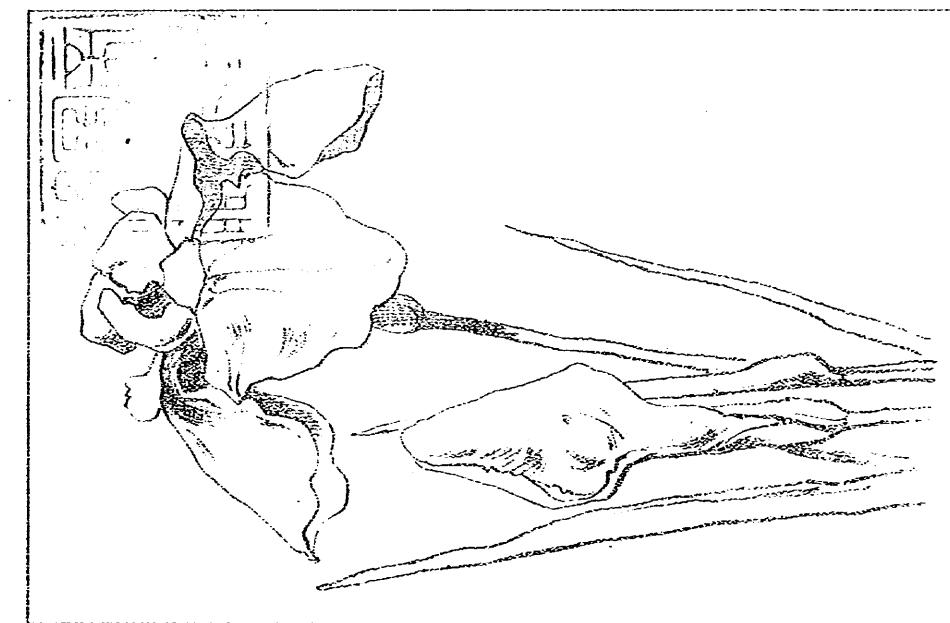
## 訂正要旨

近來歐米諸國ニ行ハル、一般ノ圖画ハ茫漠タル空想ヲ描クモノ著シク減シ去リ、正確ナル寫實ヲ基トスルモノニ非ザレバ、殆ド通用セザルニ至レルガ、教育上ニ用フル。

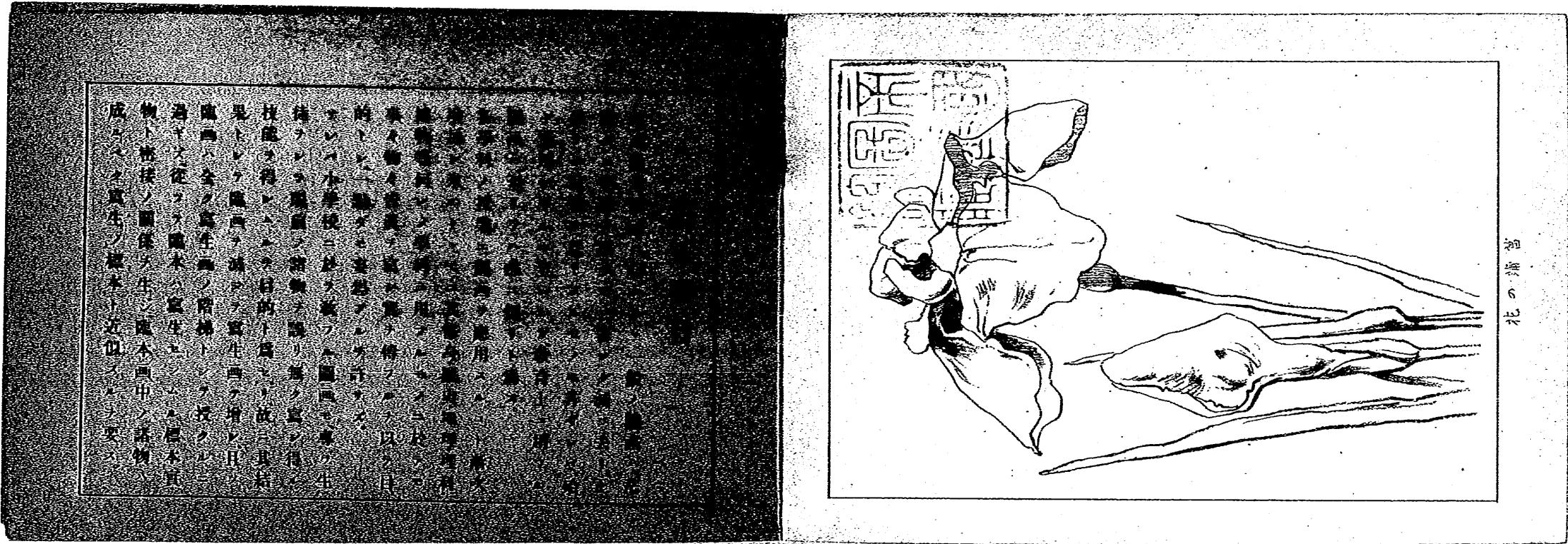
圖画ニ至リテハ殊ニ然リト爲ス。

各學科ノ授業ニ圖画テ應用スルコト漸次增加シ來ルト、モニ其修身・歷史・地理理科博物等、何レノ學科ニ用フルモノニ於テモ、事々物々皆眞ナ寫シ實ヲ傳フルナ以テ目的トシ、一點ダモ妄想アルヲ許サズ。

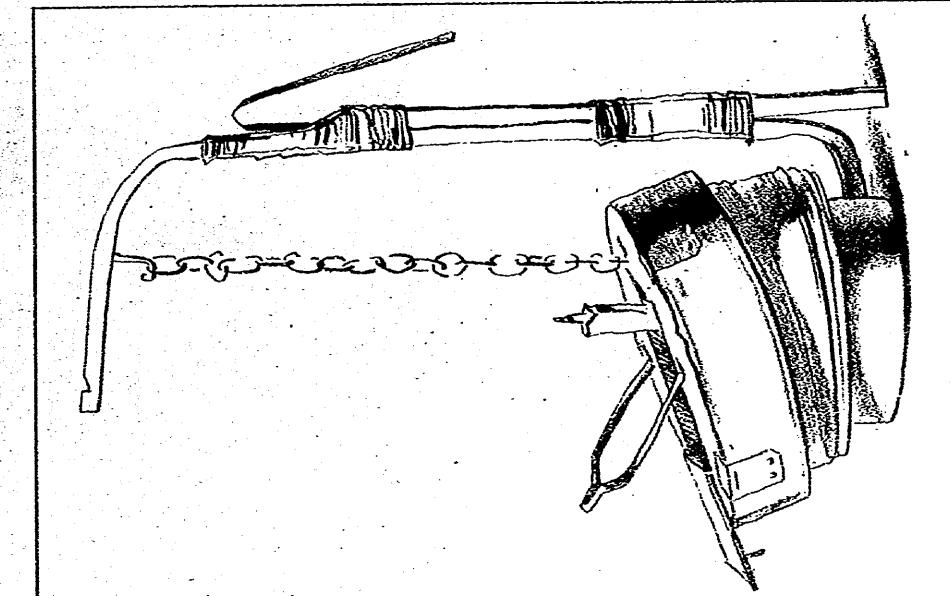
サレバ小學校ニ於テ教フル圖画モ、専ラ生徒ナシテ眼前人諸物ヲ誤リ無ク寫シ得ル技能ヲ得シムルヲ目的ト爲セリ、故ニ其結果上シテ臨画ヲ減シテ寫生画ヲ増シ、且ツ臨画ハ全ク寫生画ノ階梯トシテ授クルニ過ギズ、從ツテ臨本ハ寫生セシムル標本實物ト密接ノ關係ヲ生ジ、臨本画中ノ諸物ハ成ルベク寫生ノ標本ト近似スルヲ要ス。

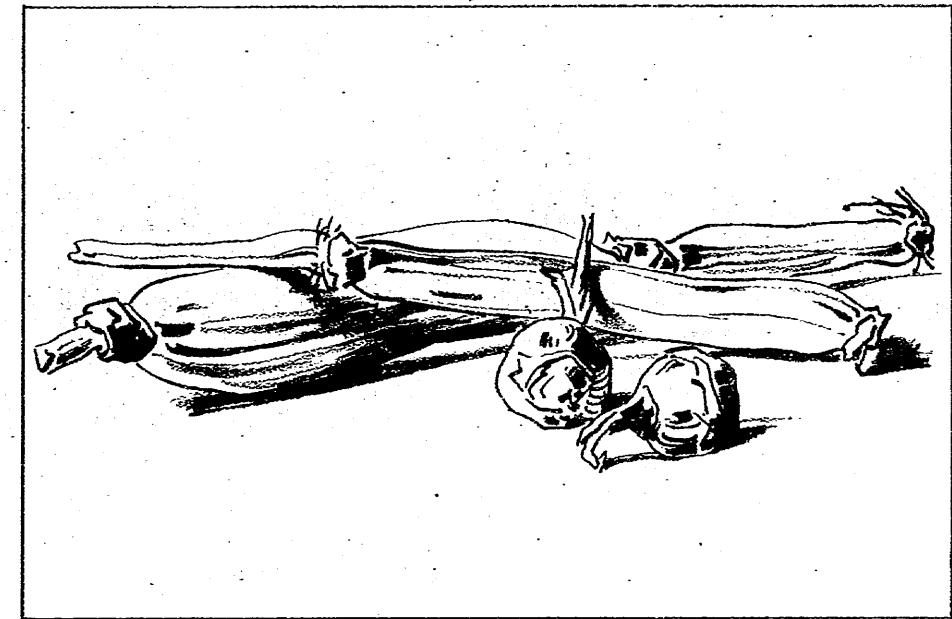


露光量調整、重複撮影



提 拉

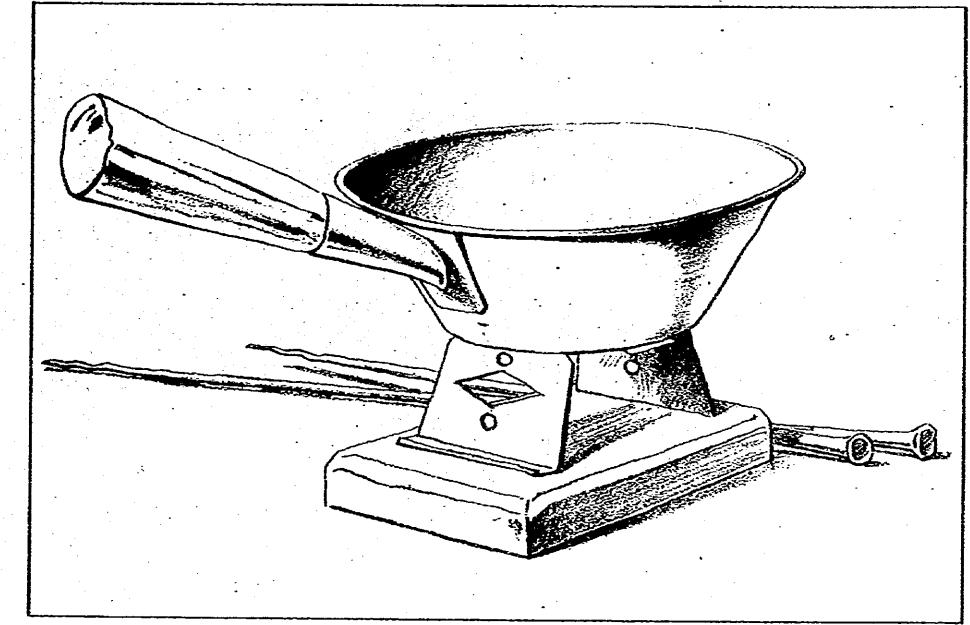




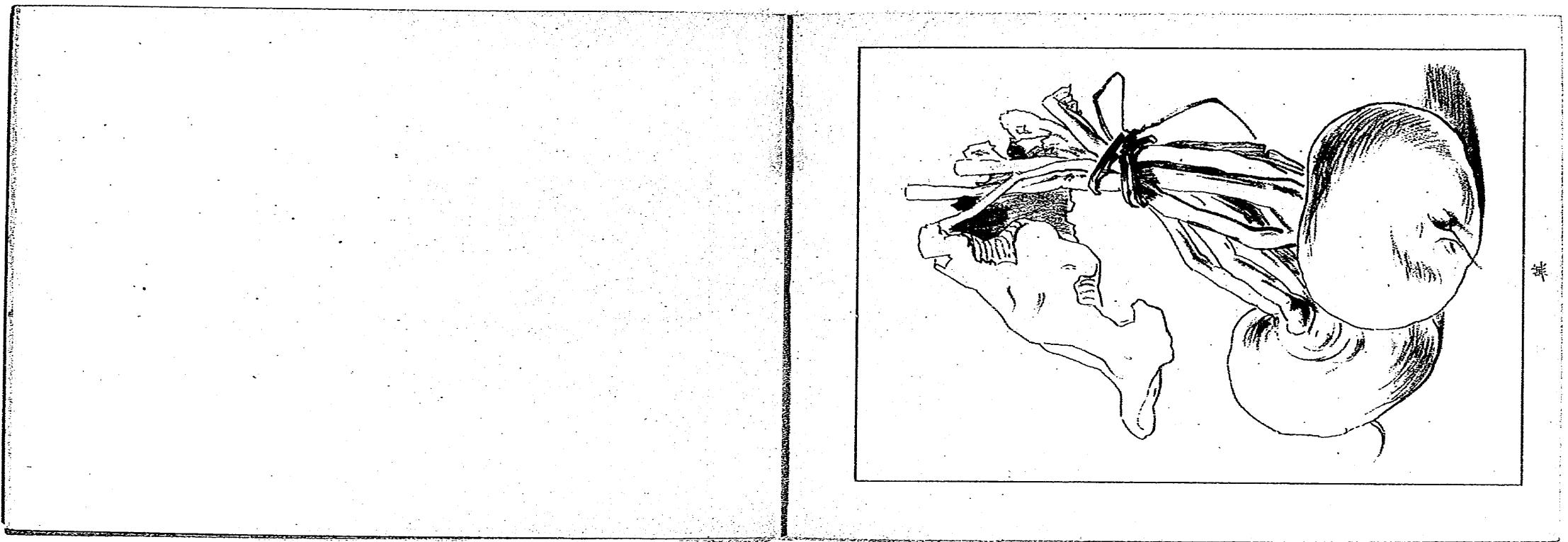
姑慈上根蓮

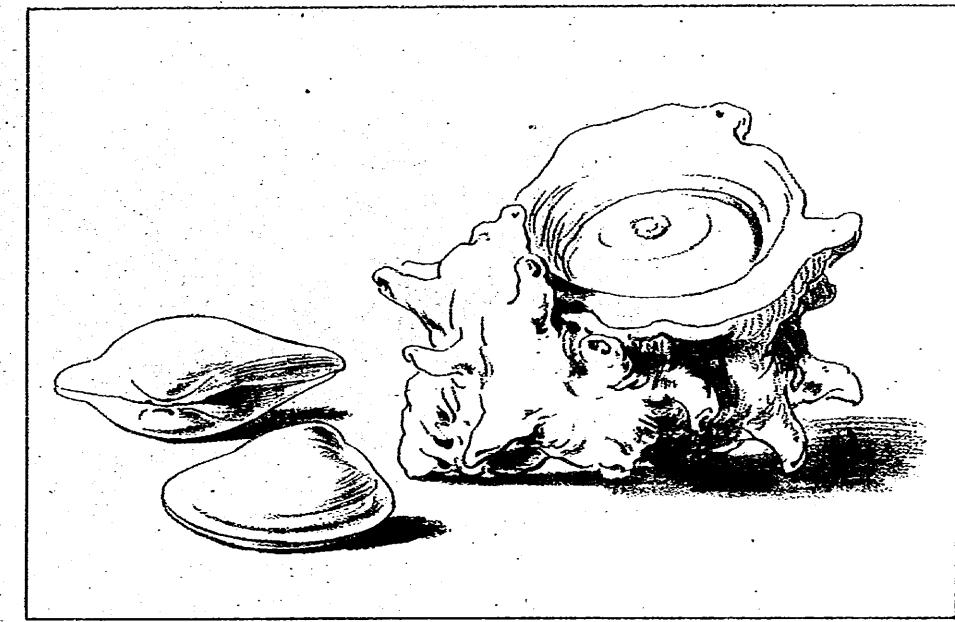
花の瓶詠





能十と箸火

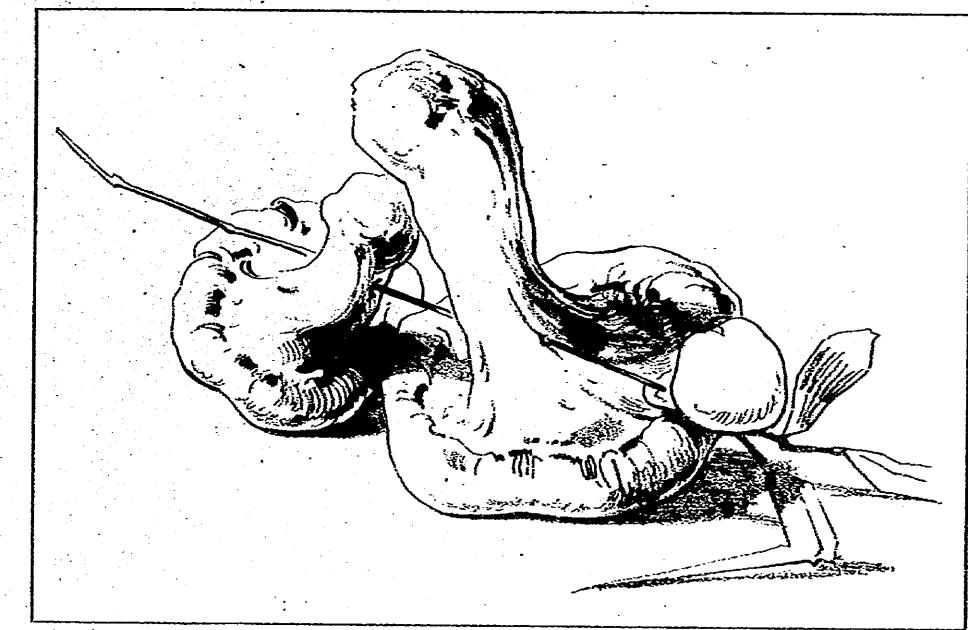




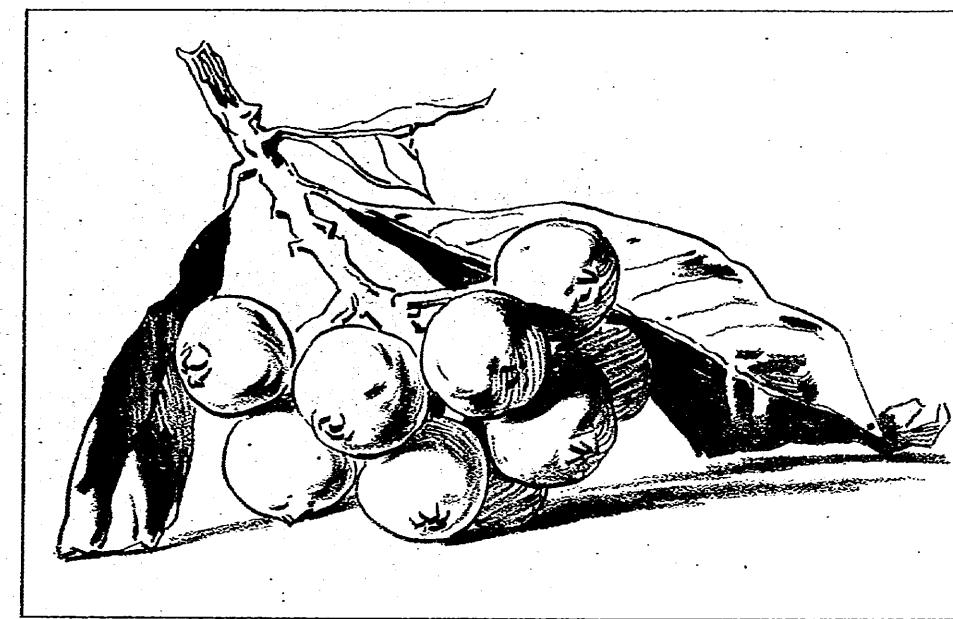
蛤之螺藻

老樹



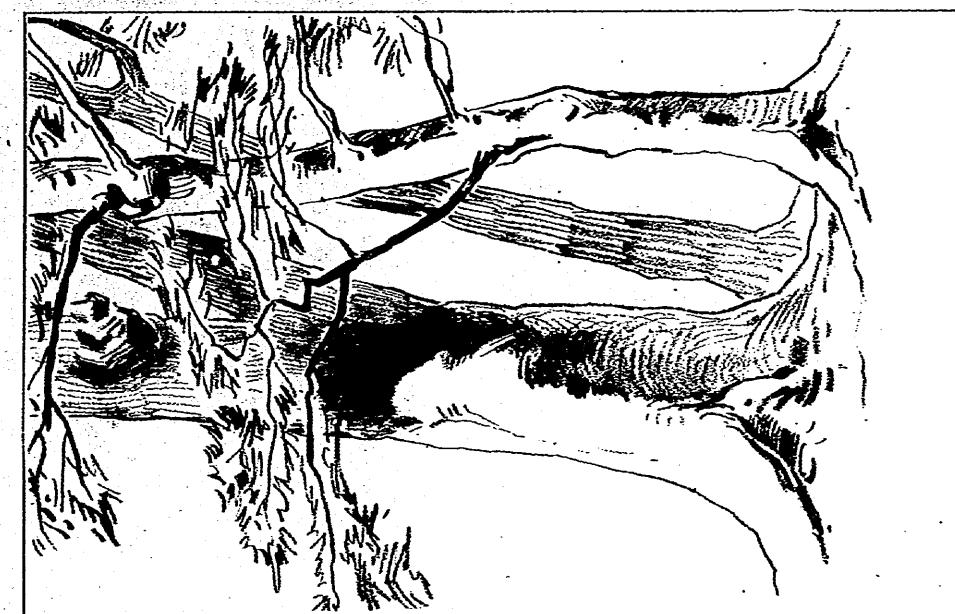


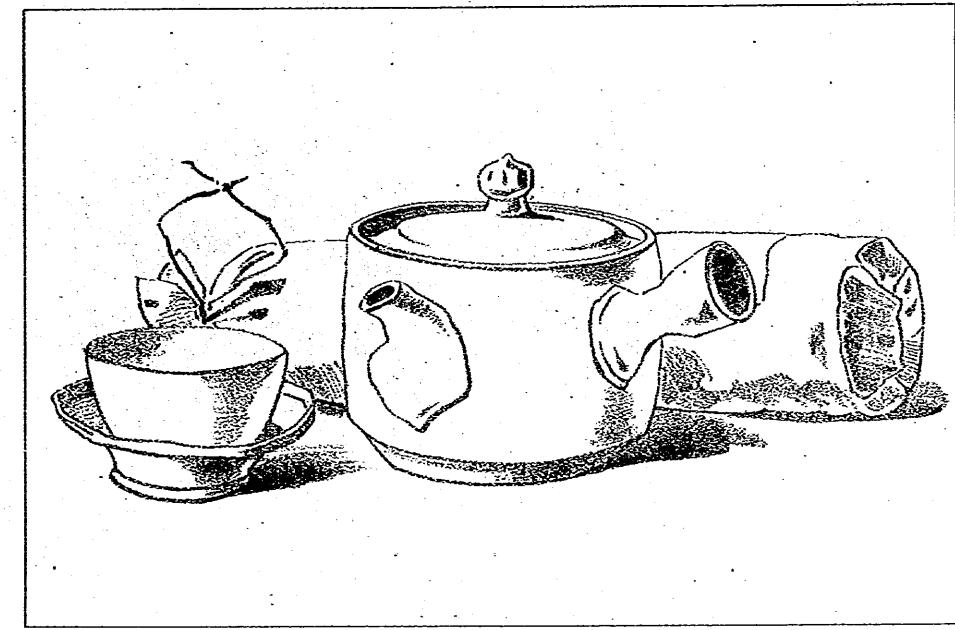
章



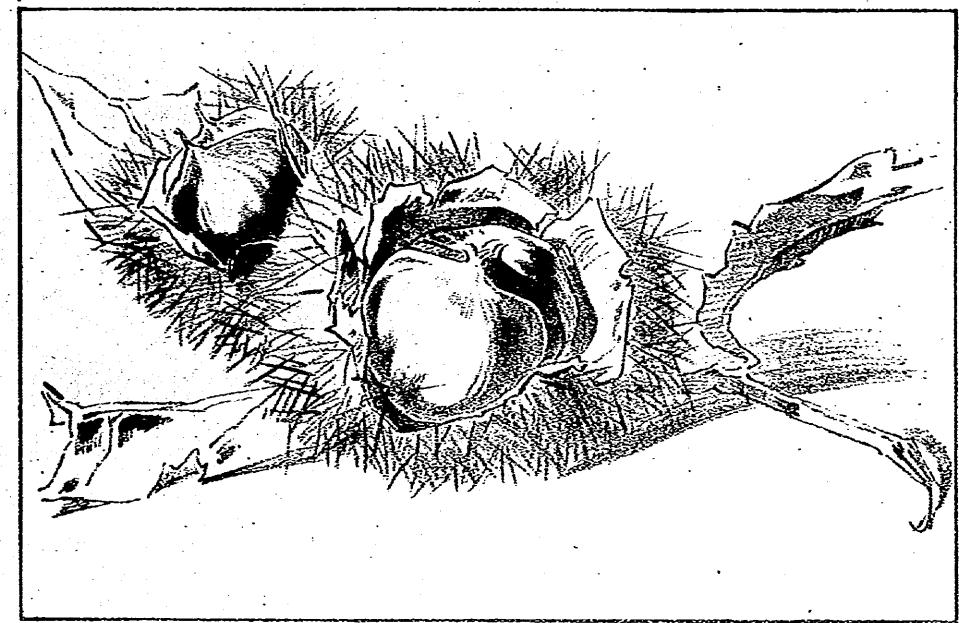
杞 桃

木 壁

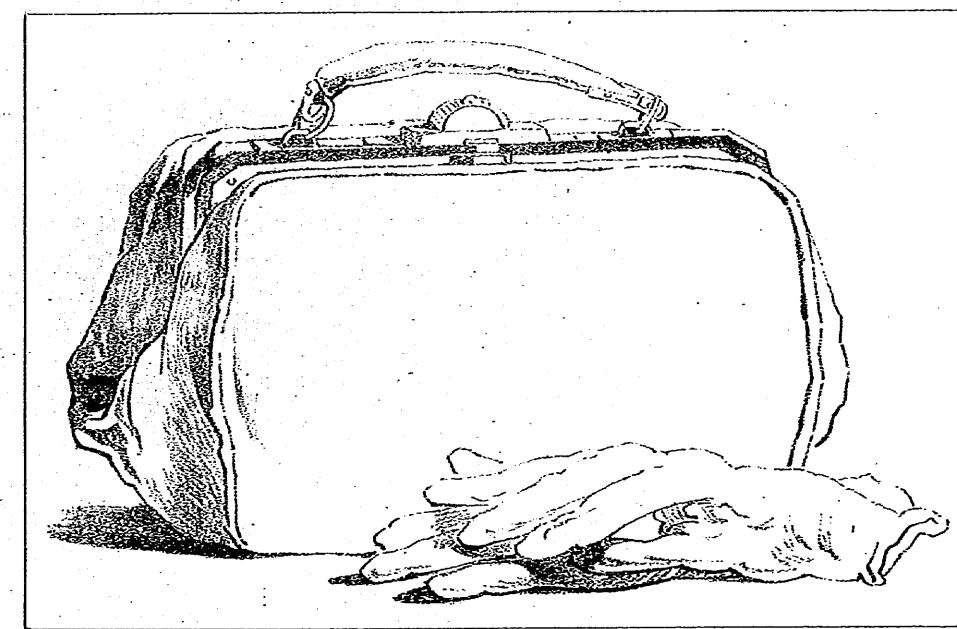




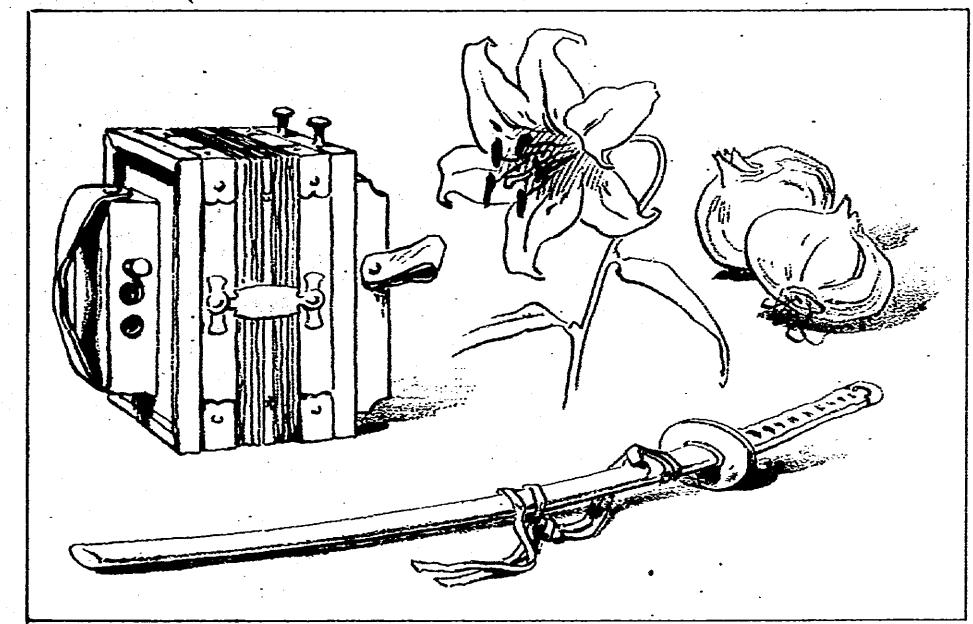
碗茶上須急



實の栗



袋手(乾)



例の生寫

撰新小學習畫帖乙種 生徒用 定價

卷一、二  
卷三、四

各金六錢五厘  
各金七錢五厘

明治三十六年十一月二十七日印刷  
明治三十六年十一月三十日發行

著作者 小山正太郎

訂正者 本多錦吉郎

發行者 東京市日本橋區本町四丁目十六番地

印刷者 小林義則

發兌 東京市日本橋區東松下町十六番地

文 學 社

大賣場所 各府縣書林

